令和４年７月27日
株式会社ビーシステム

通所介護計画書と個別機能訓練計画書の改善について

ファーストケアの通所介護計画書と個別機能訓練計画書について、機能改善を行いました。
主な変更点をご案内いたします。

【主な機能改善の概要】

① 令和３年４月度介護報酬改定時に厚生労働省より提示された様式で、通所介護計画書と個別機能訓練計画書が作成できるようになりました。ファーストケアでは過去の様式を含め、４種類の計画書がございます。

- 旧方式　→　ファーストケア独自様式
- 新方式　→　平成27年介護報酬改定で厚生労働省より提示された様式に準拠したファーストケア独自様式
- 新方式（令和３年様式）　→　令和３年介護報酬改定で厚生労働省より提示された様式に準拠したファーストケア独自様式（LIFE対応）
- 新方式（令和３年厚生労働省様式）　→　令和３年介護報酬改定で厚生労働省より提示された様式（LIFE対応）　V7.1.730での新機能

② 通所介護計画書と個別機能訓練計画書を別々に登録できるようになりました（３つの新方式で対応）。
今までは、まず通所介護計画書を登録しないと個別機能訓練計画書を作成できませんでした。計画書はそれぞれ別なご担当者様が作成するので作成する順は決まったものではないとのご指摘をいただき、通所介護計画書と個別機能訓練計画書関連付けを行わずにそれぞれのタイミングで作成できるようになりました。

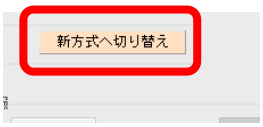
③ 暫定の通所介護計画書と個別機能訓練計画書を作成できるようになりました（令和３年様式、令和３年厚生労働省様式で対応）。
複数の個別機能訓練計画書を作成し、そのうちの１つを確定版とすることができます。

④ 訓練期間が重複する個別機能訓練計画書が作成できるようになりました（全ての様式で対応）。
今までは訓練期間の重複ができず訓練期間中に計画を見直す場合は、終了日を前倒して新たな個別機能訓練計画書を作成しました。

⑤ 個別機能訓練計画書の印刷時、訓練内容「プログラム内容」と「頻度と時間」についてLIFE提出用項目と自由入力欄の出力を選択できるようになりました（令和３年様式、令和３年厚生労働省様式で対応）。

【機能改善の操作方法】

① 通所介護計画書・個別機能訓練計画書の様式
<u>新旧方式の切り替えは、「旧方式へ切り替え」「新方式へ切り替え」ボタンで行います。</u>

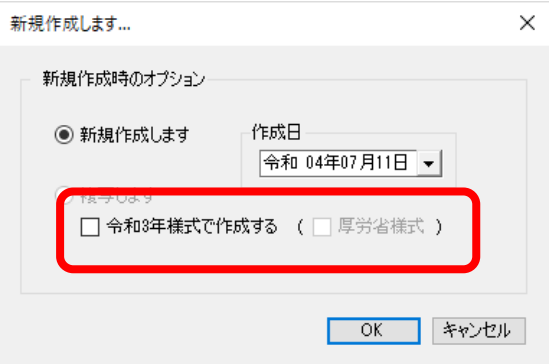


令和４年７月27日
株式会社ビーシステム

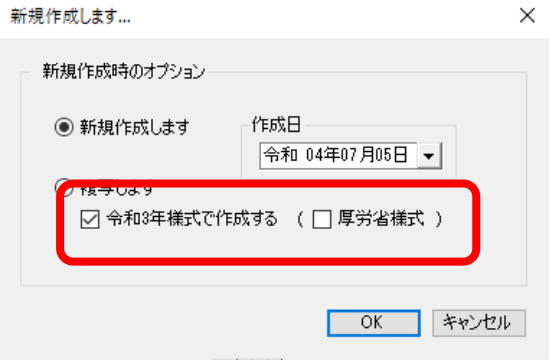
新方式の切り替えは新規作成するときに選択します。

通所介護計画書の新規画面

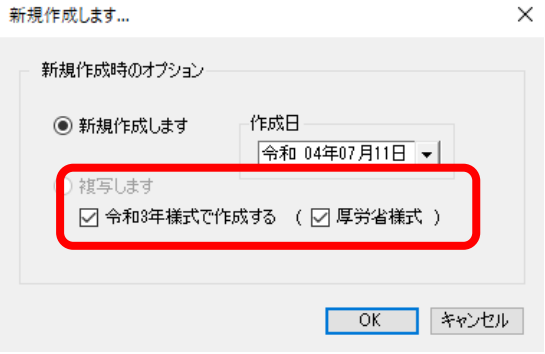
【平成 27 年ファーストケア独自様式】



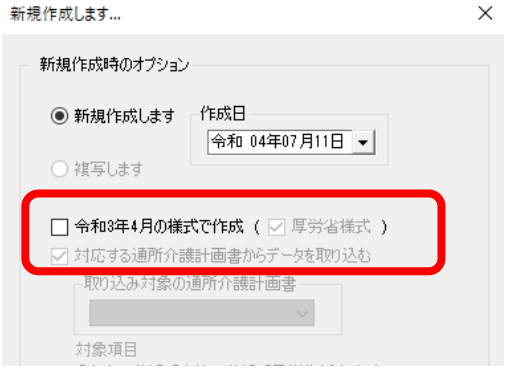
【令和３年ファーストケア独自様式】

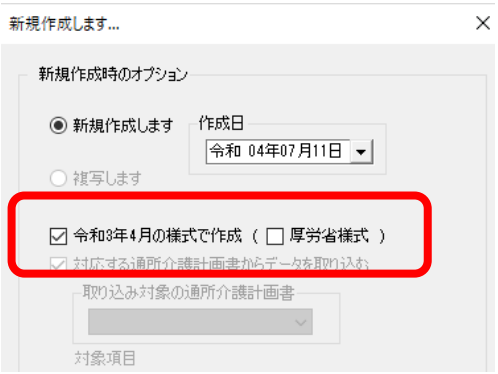


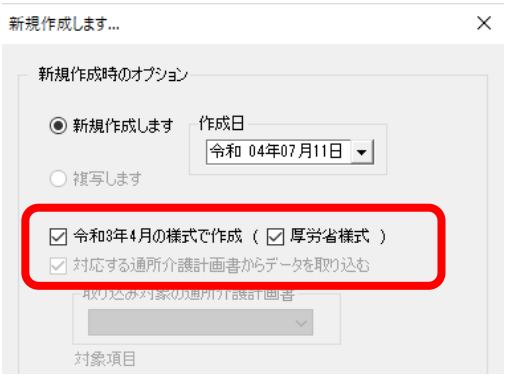
【令和３年厚生労働省様式】



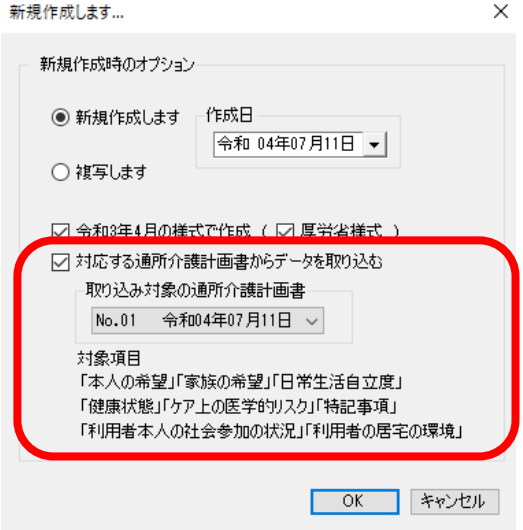
個別機能訓練計画書の新規画面



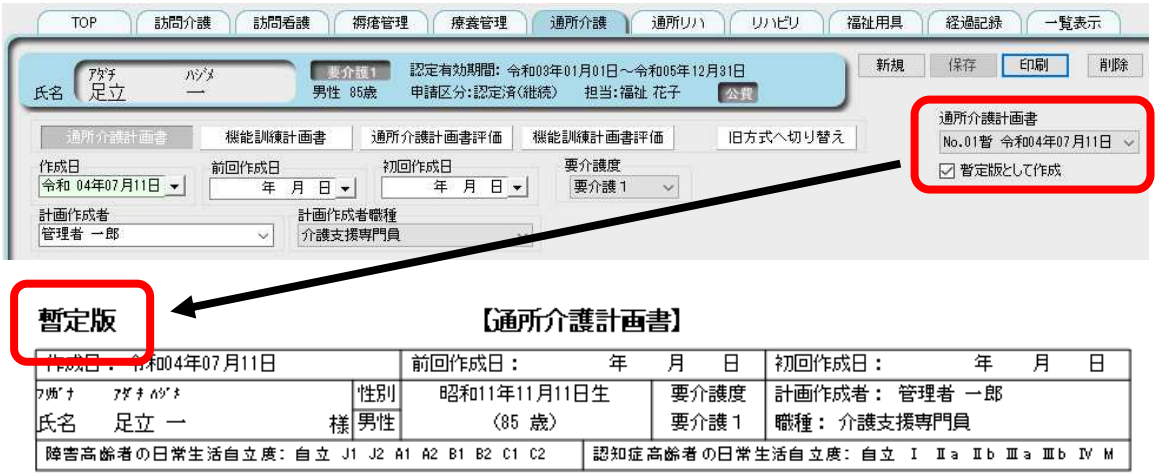


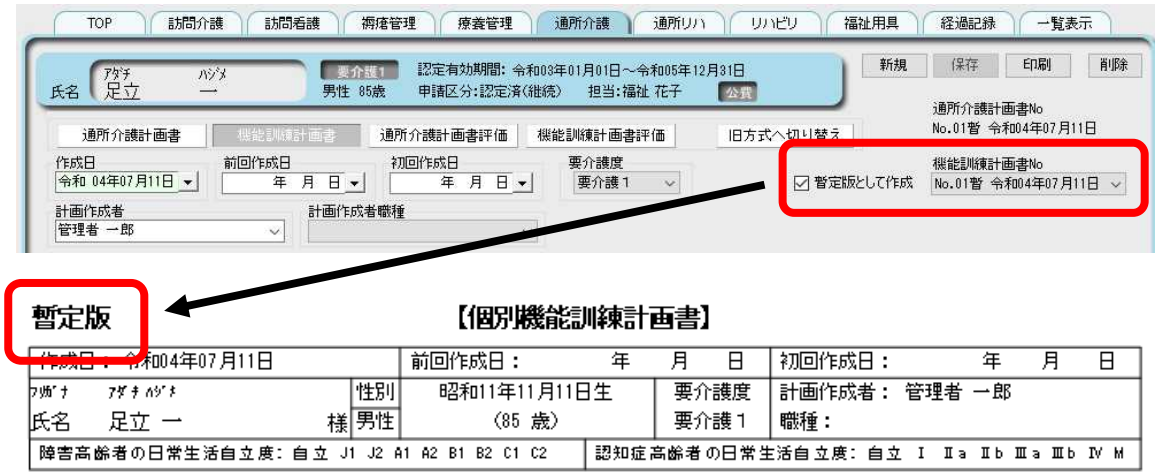


② 通所介護計画書と個別機能訓練計画書を別々に登録できるようになりました。
個別機能訓練計画書を新規作成するとき、対応する通所介護計画書の選択がなくなりました。登録されている通所介護計画書から「本人の希望」「家族の希望」など重複する項目を新たに作る個別機能訓練計画書に取り込む場合は、取り込み元の通所介護計画書を選択します。また、通所介護計画書の「利用者本人の社会参加の状況」と「利用者の居宅の環境」も複写するようになりました。



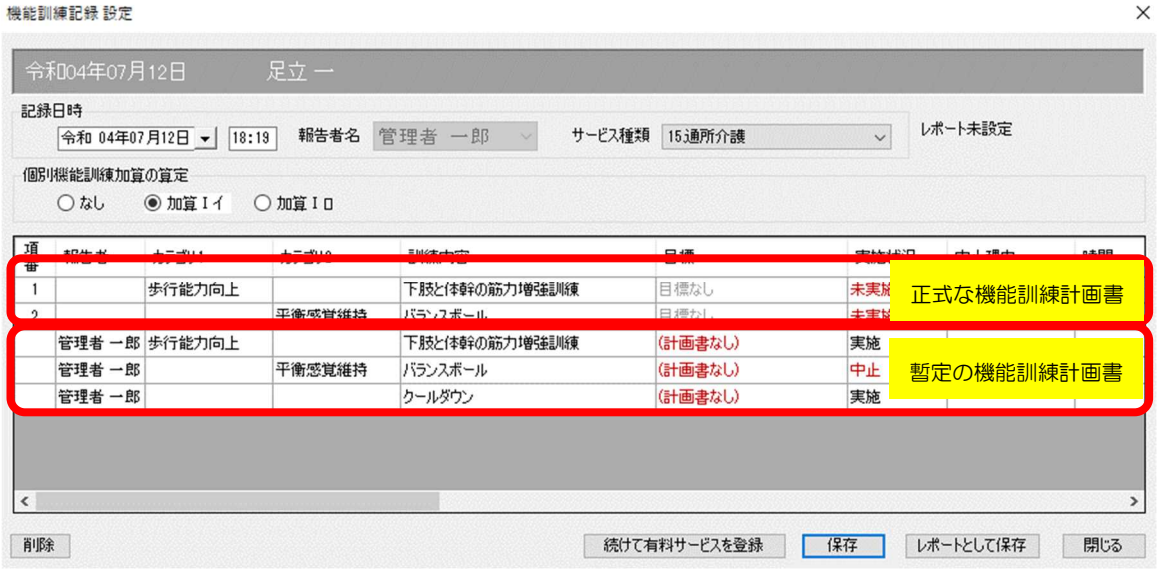
③ 暫定の通所介護計画書と個別機能訓練計画書を作成できるようになりました。





複数の暫定版を作成し、その中の１つを確定版にする場合は「☑暫定版として作成」のチェックをはずして保存します。「暫定」のまま訓練記録を登録し、その個別機能訓練計画書を確定版にすると訓練記録はそのまま紐づきます。訓練記録を登録した「暫定」の個別機能訓練計画

書とは異なる個別機能訓練計画書を確定版にした場合は、訓練記録は紐づかず次のような表示になります。

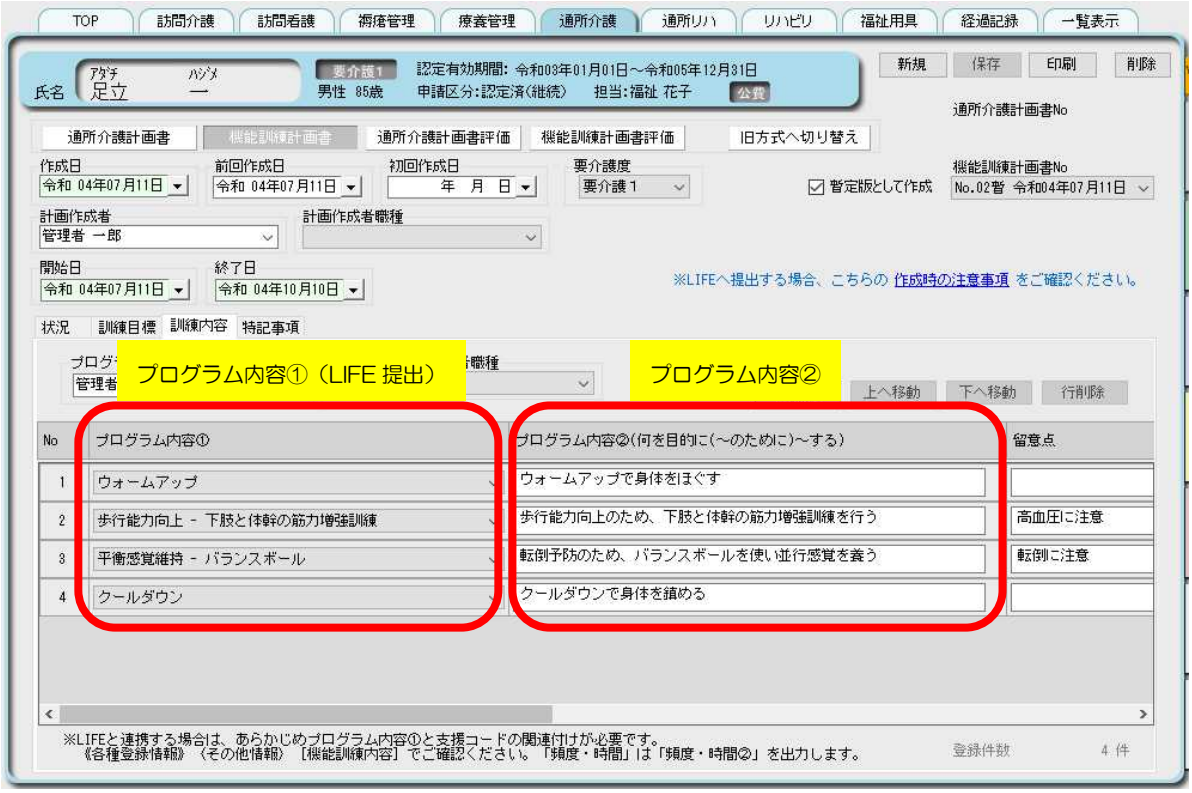


④ 訓練期間が重複した複数の個別機能訓練計画書を作成できるようになりました。
複数の暫定版を作成した場合や訓練期間の途中で計画書を見直した場合に、もとの個別機能訓練計画書の訓練期間は当初のままで残し、訓練期間が重複した新しい個別機能訓練計画書を作成できるようになりました。重複した期間がある場合、通所日付別画面やファーストケアポータブル通所版の訓練内容は、以下の優先順位で表示します。

1．訓練期間開始日の降順
2．確定版
3．作成順の降順

【制限事項】
訓練開始日が同じ個別機能訓練計画書を複数登録した場合、ファーストケアポータブルの機能訓練記録は先に登録された個別機能訓練計画書の訓練内容を表示します。あとから登録した個別機能訓練計画書で機能訓練記録を登録する場合は、先に登録した個別機能訓練計画書の訓練開始日を１日前にずらしてください。あとから登録した個別機能訓練計画書がファーストケアポータブルの機能訓練記録に表示されるようになります。
次バージョン（ファーストケアポータブル通所版 V2.9.23）で通所日付別画面と同じ優先順位で表示するようになります。

⑤ 個別機能訓練計画書の印刷時、訓練内容「プログラム内容」と「頻度と時間」について LIFE 提出用項目と自由入力欄の出力を選択できるようになりました。両方入力して、印刷時に選択する運用も可能です。
プログラム内容①：LIFE に提出します。支援コードとの関連付けが必要です。
プログラム内容②：LIFE に提出しませんが、自由入力欄なのでわかりやすい文章で記載できます。


プログラム内容①（LIFE 提出）
プログラム内容②
プログラム内容①
プログラム内容②(何を目的に(～のために)～する)
留意点
ウォームアップ
ウォームアップで身体をほぐす
歩行能力向上 - 下肢と体幹の筋力増強訓練
歩行能力向上のため、下肢と体幹の筋力増強訓練を行う
高血圧に注意
平衡感覚維持 - バランスボール
転倒予防のため、バランスボールを使い並行感覚を養う
転倒に注意
クールダウン
クールダウンで身体を鎮める

頻度・時間①
頻度・時間②（LIFE 提出）
頻度・時間①
頻度・時間②
主な実施者
理学療法士
理学療法士

印刷時にどちらの項目を出力するか選択します。

プログラム内容①と頻度・時間②で出力

個別機能訓練項目

	プログラム内容　（何を目的に(～のために)～する）	留意点	頻度	時間	主な実施者
1	ウォームアップ		週　2 回	5 分	
2	歩行能力向上 下肢と体幹の筋力増強訓練	高血圧に注意	週　2 回	10 分	理学療法士
3	平衡感覚維持 バランスボール	転倒に注意	週　2 回	10 分	理学療法士
4	クールダウン		週　2 回	5 分	
			プログラム立案者：管理者 一郎		

プログラム内容②と頻度・時間①で出力

個別機能訓練項目

	プログラム内容　（何を目的に(～のために)～する）	留意点	頻度・時間	主な実施者
1	ウォームアップで身体をほぐす		5分 1回	
2	歩行能力向上のため、下肢と体幹の筋力増強訓練を行う	高血圧に注意	週 10分	理学療法士
3	転倒予防のため、バランスボールを使い並行感覚を養う	転倒に注意	10分 1セット	理学療法士
4	クールダウンで身体を鎮める		5分 1回	
			プログラム立案者：管理者 一郎	